

平成25年第10回定例会一般質問通告書

通告1番 佐藤宣明議員

質問方式 一問一答方式

1件目

質問事項 来年度以降における業務執行体制の確保の見通しと対策について

質問相手 町長

質問の要旨 震災から、まる3年目にあたる本年度は「生活再建・住宅再建元年」と位置付け各事業に懸命に取り組んでこられ、一定の目途がたつたと伺っている。担当部署の関係職員のご努力に敬意を表するところであり、一日でも早い完成を期待するところである。また、この間、他自治体等からの多くの派遣職員の支援をいただきながらの、現在であると理解しているところである。

さて、その他各種復興事業も含め、まさに正念場を迎える平成26年度は各事業の進展とともに、事務事業も増大していくことが予想され、これらを推進する体制の確保が重要と考えるが、来年度以降の見通しとその対策について伺う。

2件目

質問事項 各種復興事業の受注動向と対策について

質問相手 町長

質問の要旨 震災から2年9ヶ月が経過し、各被災地においては、復旧復興事業が本格化してきている。資材の高騰、人材の確保等の問題から各地において入札不調が報じられている。

本町においても、漁港事業等において、入札不調の報告がなされているが、その後の対応と結果について伺う。

また、2020年の東京オリンピック招致が決定され、すでに開催関連事業の施行に向けて、一部業界では、その営業スタンスを変えつつあると聞いている。折しもこの時期は、各被災地においては各復興事業が本格化する大切な時期である。

復興集中期間と言われる5年の中で、3年を経過している現在、町長はこの状況をどのように認識し、どのような対策を講じながら円滑な事業化を図ろうとしているのか伺う。

- 通告2番 山内昇一 議員
- 質問方式 一問一答方式
- 1 件目
- 質問事項 選挙公約の優先順位と復興加速にどう反映されるか
- 質問相手 町長
- 質問の要旨 東日本大震災から2年8カ月経過、今年も残り少なく来年、4年目を迎える。
- 選挙公報に掲載された町長の重要施策は町民に対して、優先されるべき各項の内容や成果・どう言う考えかを伺う。
- 1 生産基盤（水産・農業・商業・工業・観光）の復興推進
 - 2 三陸縦貫道の早期供用開始
 - 3 交流人口の拡大を図る
- 2 件目
- 質問事項 仮設帰還で高台移転の支援策を伺う
- 質問相手 町長
- 質問の要旨 被災市町で人口減が大きな課題である。本町の仮設暮らしの町民が高台移転整備地を早急に決定する対策を検討すべきである。
- 更にもう一步帰還町民の足を進める独自対策の樹立を実施すべきであるが、新たな復興支援策として以下の拡大策の創設はどうか。
- 1 復興建築祝金
 - 2 再就職などの斡旋
 - 3 一定期間の税の減免
- 通告3番 小野寺久幸 議員
- 質問方式 一問一答方式
- 1 件目
- 質問事項 仮設住宅入居者の生活再建について
- 質問相手 町長
- 質問の要旨
- 1 仮設住宅入居者の住宅建設や公営住宅への入居が進んだとき、入居者が少なくなった仮設住宅を集約することはあるのか。その際の引越費用の補助は考えているのか。
 - 2 他の自治体で実施が決まっている災害公営住宅入居の際の敷金の免除について、南三陸町での実施の考えはないか。

2 件目

質問事項 女川原発について

質問相手 町長

質問の要旨 1 東北電力女川原子力発電所は、地震と津波で大きな被害を受けたが、間一髪で奇跡的に大惨事を免れた。
女川原発で過酷事故が発生した場合の避難計画とその実効性は。
2 廃棄物の処理の見通しもたっておらず、エネルギーを原発に依存することには、大きな危険性がある。
町として、東北電力、国、県等関係機関に対して、女川原発再稼働反対の申し入れをすべきではないか。

通告 4 番 後 藤 伸 太 郎 議員

質問方式 一問一答方式

1 件目

質問事項 震災遺構について

質問相手 町長

質問の要旨 県や国に震災遺構の保存に向けた動きがある中、被災自治体としてどう考えていくのか伺う。
1 旧防災対策庁舎について
2 震災遺構の町内の候補について
3 地域住民の合意形成について

2 件目

質問事項 祈念公園の整備について

質問相手 町長

質問の要旨 震災復興計画に基づく「公園・緑地ゾーン」の利活用について伺う。
1 ネイチャーセンターについて
2 防潮堤のセットバック案について

3 件目

質問事項 仮設住宅について

質問相手 町長

質問の要旨 町内外にある仮設住宅に関して伺う。
1 空室の利用について
2 土地の借用期限について

通告5番 菅原辰雄議員

質問方式 一問一答方式

1件目

質問事項 農林業について

質問相手 町長

質問の要旨 農林業の現状と課題をどう捉え、どう対処していくのか。

- 1 被災農地の活用について
- 2 被災を受けない地区の農業振興策は
- 3 地元産木材の活用状況と今後の見通しは

2件目

質問事項 町民バス運行について

質問相手 町長

質問の要旨 現在運行されている町民バスについて、利用者から増便、時間変更等の声が多い。バス運行にあたり利用者の声を反映させ利便を図るべきでは。

通告6番 今野雄紀議員

質問方式 一問一答方式

1件目

質問事項 災害義援金と南三陸町震災復興寄付金について

質問相手 町長

質問の要旨 1 義援金と寄付金の取り扱い、使途は、これまで適切であったか。

- 2 今後の寄付金を各指定の用途別に、どのような事業に使い、一日も早い復興を願って寄付して頂いた皆様へ、その思いにこたえてゆくのか。

2件目

質問事項 防災集団移転事業について

質問相手 町長

質問の要旨 1 災害公営住宅入居希望者及び高台移転希望者の推移、現在の状況

- 2 災害公営住宅の設計変更について
災害公営住宅をエレベーター付きのRC構造の高層住宅から、軒割りなどの平屋の住宅に、計画途中であっても、将来的に見直しできないか。

高齢者、低所得者の方たちが、入居利用すると思われる災害公営住宅、これらは将来的に町営住宅になるという。

家賃、ランニングコストを低くおさえ、安心して暮らせるように、将来的に造成完了時、入居希望者、分譲希望者の推移により、低層階への見直しはできるのか。

通告7番 及 川 幸 子 議員

質問方式 一問一答方式

1 件目

質問事項 名足保育園を「認定こども園」新制度に移行する考えは

質問相手 町長

質問の要旨 「認定こども園」制度とは、ご存知のとおり幼稚園と保育所等の制度の枠組みを越え、それぞれの良いところを生かしながら両方の役割を担う、施設の高機能化を目指す制度として、平成18年10月からスタートした法律に基づき、知事が認定を行う制度だが当町でも名足保育園を移行する考えがあるのか当局の見解を問う。

2 件目

質問事項 将来保育所と幼稚園の併設を望まれるが、当町の考えを伺う

質問相手 町長

質問の要旨 震災後全国からボランティア支援が当町に入ってきている。その中でいろいろのジャンル・異文化を五感で老若男女が体験されたことは、自分だけではなかったと思う。このことを踏まえて考えたとき、文化は1～2年で築かれるものではなく、長年かかるもの。幼児期から歌や単語を耳から聴いて覚える方法であれば、遊びながら覚えることができ、また英語だけではなく、日本文化も身近で覚えることができるので、将来の人材育成のため、保育所と幼稚園の併設を望むので、当局の見解を伺う。